ついじまつ COMMUNICATION 16

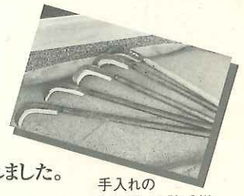
ついじまつコミュニケーション:築地松情報誌2002.1月　発行ー築地松景観保全対策推進協議会

「去年はおぞげな話も多かったが、今年はどげかの～」
おとそでほろ酔い気分の父が窓の外を眺めながらつぶやく。
「ほんね、ええ年になってもらわないけんわね～。ぞうにを食ったら、大社さんへ初もうでにいかや。」
と台所でぞうにを作りながらの母の声。

僕はこたつの中で、冬休みの残りと元日にもらったお年玉を指折り計算中である。
向かいでコックリ居眠りしていたおばあちゃんが、誰に話すともなくつぶやいた。
「よそではいろんなことがあっても、わたしゃこの家で正月に家族みんなの顔が見られることが、一番楽しみだわ」
「さぁ出来たよ」と母の並べたぞうにの湯気の向こうに築地松ごしの正月の空が輝いている。

第1回 陰手刈り技術研修会の報告

出雲平野特有の景観美・築地松を保全するためには、「陰手刈り」という4～5年に一度行われる剪定作業が不可欠です。しかし、現在では“陰手刈り職人の高齢化・後継者不足”が大きな問題となっているのが実情です。そこで、長年陰手刈りに携わっている職人の方を講師に招いての実技講習を行い、後継者育成を図る技術研修会が開催されました。


手入れの行き届いた陰手鎌

主催
築地松景観保全対策推進協議会

開催日時・場所
平成13年11月1日（木）、10:00～16:00
大社町中荒木　千家澄夫様宅

研修参加者
現在陰手刈りに従事している方および今後従事しようと考えている方
14名（出雲市、平田市、斐川町および大社町に在住または勤務地のある造園業に従事している方、出雲森林組合の作業員の方たち）
・見学者　出雲高等技術校の研修生等20名余

講師
陰手刈り職人　永岡勝蔵さん（大社町在住）・金本武夫さん（出雲市在住）

技術研修会は当初定員10名で公募したところ、応募が多かったため枠を4名増やし、14名を対象に行われました。プログラムは、午前中は永岡さん・金本さんの指導で陰手鎌の使い方を学び、午後からは、研修者が実際に松の枝を鋤く作業にチャレンジしました。この日は出雲高等訓練技術校の皆さん（20名）も見学に訪れ、高さ5～6mの場所で長さ1～2mの陰手刈り特有の鎌を操る職人さんの作業を、熱心に見守っていました。研修場所を提供いただいた千家澄夫さんは、「築地松は、強い風から家を守ってくれるし、夏の強い西日除けにもなる。葦（よしず）よりも、さらに陽射しがやわらかく感じるところが好きです。風通しが良くないと松が枯れるので管理面では大変ですが、自分の代までは築地松を残したい。」と語ってくれました。

研修生のコメント

樋野進さん（斐川町・造園業）
ふだんは鋏と鋸を使って庭木の手入れ作業をしているので、今回はじめて陰手鎌を使いました。下の部分は厚く、高いところは薄く刈るというのが築地松の刈り方と教わりましたが、陰手鎌で枝を鋤かす（薄くしていく）作業は難しいですね。熟練した職人さんの技術を間近で見て、勉強になりました。クロマツの築地松は出雲独特のものなので、残していかなければならないと思います。造園業に就いて14～5年になりますが、近年は庭木にも松くい虫の被害が及んでいます。県からの助成金を有効活用して、築地松のある家の負担が少なくなれば良いと思います。

久谷芳則さん（出雲市・造園業）
陰手刈りはこれまで7～8回経験があります。しかし、今回はベテラン職人の方と一緒に作業をすることで、自分の技術を高めるチャンスになると思い参加しました。陰手刈りの技術は、手がける職人さんによっていろいろなやり方があるので、とても勉強になります。最大で10m近い高さまでハシゴで登り作業をすることもありますが、ビルの上から見下ろすのとちがい、築地松は下に枝があるので不思議と安心感があるんです。（陰手刈りは）男らしい仕事だと思いますね。今回の研修のように陰手刈りの技術交流の場があると、築地松に想いを寄せる地元の職人の刺激になり、後継者の育成にもつながると思います。

職人さんのコメント

永岡勝蔵さん（79歳）
陰手刈りの仕事に就いて48年になります。この間モットーは「一所懸命」そのひとことに尽きます。早朝から日没近くの5時まで一心不乱に作業をしますが、この集中力がケガを少なくする肝心な点です。日本では鳶と陰手刈り職人には保険が利かないので、気をつけませんと。築地松は、見た感じが同じようになるように、どこから見ても水平になるよう、目測が大切です。そして枝を鋤かすには、力を入れずに45°の角度で軽く枝をたたき、折るという技術。スピードとカン、そして身のこなしが軽やかなことが要求されますね。

金本武夫さん（73歳）
この仕事に就いて20年の私も、まだまだ勉強の日々です。私は、築地松は世界遺産になってもおかしくないほどの出雲独特の景観美だと自負しております。そのためには、風通しを良くするためと、秋に発生する松くい虫の被害から築地松を守るためにも、4～5年おきの陰手刈りは必須の作業。後継者の職人が増えることによって、この美しさを保つことができ、後世に伝える文化遺産になるのです。「職人技には5年。一所懸命なら3年。」つねづね後輩の職人たちにこう話していますが、今後も陰手刈りの技術継承に努めていきたいと考えております。

こーからも育ててえかや！築地松

（築地松調査結果報告会及び意見交換会）

4市町で合計108名が参加！

平成11・12年度に実施した築地松調査の結果を広く住民の皆様に知っていただくため、また、住民の皆様からの御意見をお聞きするため、報告会及び意見交換会を9月の土・日曜日の4日間、出雲市、平田市、斐川町、大社町でそれぞれ開催しました。
当日は、皆様から築地松に対する思いや苦労話、また、当協議会に対する御意見などもいただき、ありがとうございました。その中で、当日、回答を保留しておりました次の2つの質問については、住民の皆様の多くが関心を持っておられると思いますので、この紙面上で回答させていただきます。

質問1
築地松景観保全対策推進協議会の助成金の交付対象となるものとならないものを明確に示してください。

回答1
［交付対象となる経費］
築地松景観保全対策推進協議会会長の認定を受けた築地松景観保全住民協定に基づいて行う築地松の維持管理のうち、交付を受ける年度に行われるものに要する次の経費。
①松くい虫の防除に要する経費（松枯れの伐倒経費を含む）
②築地松の剪定に要する経費
③築地松の新植又は再生のための補植に要する経費
注1）松くい虫被害による伐倒後の枝や木くず等の運搬費・処理費については、交付対象となりますが、単なる剪定後の枝や木くず等の運搬費・処理費については交付対象となりません。
注2）証拠書類として必ず領収書及び剪定、伐倒、新植、補植の施行前・施行後の写真が必要です。

質問2
陰手刈り（剪定）の時期と松くい虫の被害に因果関係があると聞きましたが、本当ですか？

回答2
陰手刈りは、3月から5月にかけて行なわれることが多いようですが、3月以降は松が生長を開始することから、これを剪定することにより樹勢には少なからず影響が出ます。しかし、松の剪定と松くい虫（「マツ材線虫病」）被害の因果関係については、よく分かりません。ただし、剪定後の枝などを放置しておくと、松くい虫の病原を運ぶマツノマダラカミキリの産卵対象木となる可能性があるため、必ず処理する必要があります。

なお、マツノマダラカミキリの産卵は、7月から8月にかけて行われます。

陰手刈りさんご紹介

築地松景観保全対策推進協議会からのおしらせ
当協議会では、毎年「陰手刈り」さんを紹介しています。
自宅の築地松の剪定時期を迎えられている皆様、是非連絡をされてみてはいかがですか？
なお、連絡は、「陰手刈り」さん本人に直接お願いします。

郵便番号	住　所	氏　名	電話番号	陰手刈りを行う期間	陰手刈りに行ける地域
699-0721	簸川郡大社町修理免1405	上田　忠	0853-53-2708	年中	大社町・出雲市
699-0732	簸川郡大社町入南476-2	永岡勝蔵	0853-53-1800	2月～12月	大社町・出雲市等
699-0731	簸川郡大社町遥堪1165	長廻　浩	0853-53-1624	3月～4月・9月～12月	出雲市・大社町・斐川町
699-0554	簸川郡斐川町三分市116	錦織　進	0853-62-4264	10月～翌年3月まで	斐川町・出雲市
699-0643	簸川郡斐川町原鹿453	坂本芳友	0853-72-3474	1月～5月	主に斐川町内
699-0502	簸川郡斐川町荘原町3420	樋野良吉	0853-72-3233	12月～4月	全地域
699-0502	簸川郡斐川町荘原町2880-3	坂本行弘	0853-72-9721	年中	斐川町・出雲市・平田市
699-0501	簸川郡斐川町学頭1815	(有)高橋造園	0853-72-6508	5月～9月	簸川郡・出雲市
691-0003	平田市灘分町2620	石原勝之	0853-62-3983	春・秋・冬	平田市・出雲市・斐川町
693-0021	出雲市塩冶町967-1	出雲地区森林組合	0853-22-4433	1月～4月・11月～12月	出雲一円
693-0031	出雲市古志町996	金本武夫	0853-24-3528	年中(梅雨時期、夏季は除く)	県内
699-0822	出雲市神西沖町479-2	柘植観象園	0853-43-1882	1月～3月	出雲市・平田市・斐川町・大社町
693-0005	出雲市天神町307-12	遊木　稔・恒夫	0853-22-3543	春・秋	出雲市
693-0006	出雲市白枝町814-3	中湯忠吉	0853-23-4043	年中	出雲市・大社町(一部)・斐川町
693-0067	出雲市矢尾町614-1	宮本光敬	0853-24-1609	春・秋	出雲市・大社町
693-0067	出雲市矢尾町下沢175-27	福代梶正	0853-24-2026・1449	3月～11月	出雲市内
693-0005	出雲市天神町253-1	田中俊雄	0853-22-0860	年中	出雲市
693-0004	出雲市渡橋町884-1	久谷芳則	0853-23-7683	年中	出雲市・大社町

※順不同・敬称略　※掲載に同意していただいた陰手刈りさんのみ載せています。上記以外の陰手刈りさんで、ご紹介を希望される方がありましたら、協議会までご連絡ください。

ついじまつレスキュー隊

帰ってきたぞ!!

昨年に引き続き、今年も松くい虫（「マツ材線虫病」）の被害発生が心配されます。どうやら被害発生は、夏の気象と関係があるようです。夏が平年に比べて気温が高く、降雨量が少ない年はマツが松くい虫にかかり易くなります。これは、夏期の高温と土壌の乾燥が松くい虫の発病・枯死を促進するためです。昨年の夏は、平年に比べて全県的に暑く、降雨量は地域にもよりますが少ない年でした。つまり、松くい虫の発病を促進した気象条件であったといえます。

そこで、「ついじまつレスキュー隊」情報をお伝えします。

《予防》

予防には、殺虫剤などをマツの樹幹部に散布する方法と殺線虫剤を幹に注入してマツ全体に拡散させる樹幹注入法があります。

《駆除》

駆除は、枯死したマツの樹皮下や材内にいるマツノマダラカミキリの幼虫を駆除して翌年5～7月に脱出する成虫の密度を下げ、被害の発生を防ぐものです。その方法は、松くい虫で枯れたマツを伐倒し、枝払いをして適当な長さに玉切りしたうえで、殺虫剤を散布し、カミキリ幼虫を駆除します。この他に、焼却したり、くん蒸処理といった方法があります。

◎松くい虫の症状には、次の3つの特徴があります。

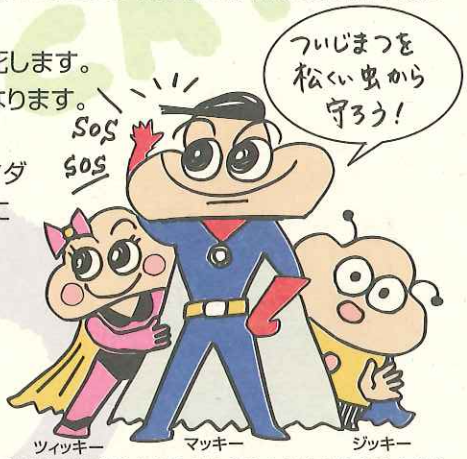
1 枯れの多くは8～10月に発生します。しかし、少数ですがそれ以降でも枯れることがあります。はじめに前年葉がしおれ、ついで当年葉がしおれて針葉が赤変します。

2 まれに梢端や枝の一部のみが枯れることがありますが、普通木全体が枯死します。

3 幹に傷をつけたり、枝を折ってみても、傷口からはヤニはまったく出なくなります。

判定方法として試してみてください。

※松くい虫は、「マツノザイセンチュウ」が病原で、カミキリの一種「マツノマダラカミキリ」が媒介します。当年発生の被害木を放置すると、翌年の伝染源になることが考えられますので、伐倒してカミキリを駆除することが大切です。



◆松くい虫に関する問い合わせ先

出雲地区森林組合（0853−22−4433）
島根県森林病害虫防除センター（0852−21−8522）
島根県林業技術センター（0852−66−0301）

「ついじまつクロスワードパズル」答え

前号（15号）で募集しましたクロスワードパズルに352通の応募がありました。多数のご応募、大変ありがとうございました。正解者の中から抽選で30名の方にオリジナルテレホンカードを送らせていただきます。

当選者の発表は、厳正な抽選の上発送をもってかえさせていただきます。ご了承ください。

ふ[1]	ま	い	こ[3]	う[4]	■
う[5]	り	■	い	な	ご
り[7]	ん	ご[8]	■	ぎ	■
ん	■	び[9]	■	■	す[10]
■	つ[11]	う	■	か[14]	い
い[13]	り	す	の[A]	お	か

キーワード

の[A]	う[B]	て	ご[C]	り[D]

まちがいさがし

下の絵にある5つのまちがいをさがしてください。

答え：1.点との絵（うまとうし）2.こいしぶまつの中に鳥　3.男の子のてブラーの色　4.ちぐらとかうえる　5.羽根つきの体ね（はねとかね）

築地松景観保全対策推進協議会

島根県環境生活部景観自然課　〒690-8501 松江市殿町1番地　電話 0852-22-6143
島根県出雲総務事務所　〒693-8511 出雲市大津町1139　電話 0853-23-1515
出雲市都市整備部都市計画課　〒693-8530 出雲市今市町109-1　電話 0853-21-2211
ついじまつホームページアドレス　http://www.pref.shimane.jp/section/keikan/

平田市建設経済部農山村整備課　〒691-8601 平田市平田町951-1　電話 0853-63-5546
斐川町環境政策課　〒699-0592 斐川町大字荘原町2172　電話 0853-73-9256
大社町農林水産課　〒699-0792 大社町大字杵築南1395　電話 0853-53-3113

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています